

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490800388	事業の開始年月日	平成29年12月1日
		指定年月日	平成29年12月1日
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ横浜朝比奈		
所在地	(〒236-0033) 神奈川県横浜市金沢区東朝比奈3-11-13		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和3年1月10日	評価結果 市町村受理日	令和3年5月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>①ミモザの新しいグループホーム「プレミアム」として、車椅子対応の浴室・床暖房・大きめのクローゼット・フロアー居室にカーペットがひかれ、外観・内装もおしゃれな作りになっている。</p> <p>②自立支援として出来る事・出来ない事を見極め、生活の中で食事の準備・片付け・清掃等の役割分担をもち、ホームメイドと支え合いながら「安全で安心」な生活を送れるように実践している。</p> <p>③毎日のバイタルチェック・月初めの体重測定・月に2回の往診にてドクター・看護師の診察・週1回の訪問看護にて健康管理を行っている。</p> <p>④週1回の歯科往診にて口腔内チェック・清掃・口腔ケアにて口腔内の管理を行い、誤嚥性肺炎・感染症の予防にもなっている。</p> <p>⑤レクリエーションの日を設けており、担当スタッフがその都度考えて実践している。又、近隣へのドライブにも出掛けている。体操はリハビリ体操だけではなく、「スクワット」を取り入れたハードな体操も行っている。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和3年3月31日	評価機関 評価決定日	令和3年4月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇30分研修を中心とした職員研修体制 毎月の研修テーマを決めて30分研修を行い、職員の意識向上、実務への反映に努め、サービスの質向上に寄与している。テーマとして、認知症、認知症ケア、プライバシー保護、接遇、身体拘束及び虐待防止、感染症・食中毒予防、法令順守、リスクマネジメント等があり、テーマごとに職員が準備し運営している。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇コロナ禍における利用者優先の様々なケア方法の試み コロナ対応で利用者の散歩や外出を控えてお、ADLが低下しがちであるが、これを補うべく、事業所内のレクリエーションを増やし、楽しみながら体を動かし、会話を促し気分転換を図るように工夫している 家族の事業所内立ち入りを原則禁止しているが、利用者にとって家族の顔を見たい気持ちが強く、電話連絡以外に、玄関で透明シートを挟んで実対面してもらう等の工夫をしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	ミモザ横浜朝比奈
ユニット名	潮騒(しおさい)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員と話し合い、決めた理念、7つの心を持ち共有し日々の業務に心がけている。	・理念である7つの心を掲示し、毎月のスタッフ会議で課題解決の際に理念と対比している。 ・管理者は、職員が理念に沿って利用者に寄り添い、思いやりの心をもって支援しているかを常に確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており初めてのお祭りに参加、会長さんをはじめ皆さんから温かい受け入れをしていただいた。	・町内会に加入しているが、コロナ禍の現在は地域の行事が全て中止され、地域住民のボランティア受け入れを中止している。 ・町内会の回覧は月1回回ってきており、町内会長への挨拶等を通じて良好な関係を維持している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・金沢区GH連絡会にて情報の交換・相談等を行っている。又、管理者が認知症ケア専門士であるため、認知症についての相談等は受け入れられる体制がある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度の会議にて防災訓練について避難場所等についての助言を頂いている。	・町内会長(兼、民生委員)、地域包括支援センター職員、家族代表をメンバーとし2か月毎に開催しているが、コロナ対応として現在は開いていない。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村と介護サービス、生活対応についての情報交換や協力を築いている。	・高齢・障害支援課と介護保険関連について相談し、生活保護支援課とも連携をとっている。行政関係の情報はメール等で入手している。 ・区のグループホーム協議会に加入しているが、現在はコロナ対応で活動していない。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設けている。2カ月に一度の研修会を実施して「身体拘束をしないケア」に取り組んでいる。	・身体拘束防止委員会を設けており、3名の委員を中心に2か月ごとに委員会を開催し、「身体拘束をしないケア」について話し合い、その結果を職員に周知している。 ・年2回、30分研修で「身体拘束と虐待防止」について学んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間の社内研修に取り組んでおり、虐待防止について研修・話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人を受けている方がおり、後見人・ご本人との相談等ができる関係がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時での相談・入居後の相談は個々に設けており、要望・説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議・家族会にて、ご家族からの意見・要望を聞き、運営に反映されている。又、重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し説明している。	・運営推進会議、家族会、家族の来訪時等を通じて意見・要望を把握するようにしている。 ・現在はコロナ対応で家族と会う機会が激減しており、電話等で把握するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議・申し送りの中で意見交換を行い、業務へ反映している。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のスタッフ会議で業務に関する職員の意見を把握している。 ・管理者は個人面談を随時行い、個人的な要望等を把握するように努めている。 ・ケア方法、シフト希望等について可能なものを反映している。 	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が希望する。研修へ参加出来るよう承認し個々のスキル向上に努めている。又、勤務状況を把握し希望などを取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修へ参加しており個々のスキル向上となっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	金沢区GH連絡会に加入しており定期的な会議にて情報は交換・助言を頂き、質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者本人の思い希望をケアプランに取り入れており、安心と安全な生活を確保できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から入居時での相談・要望を受け止め、家族との信頼関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族が望んでいることを見極め、より良いサービスが対協できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者の培ってきたことを大切に、一方的にならないよう支え合う関係が築けるように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にご本人の近状も含め、報告を行っており、又、互いの相談・要望ができる関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会できる環境を整えており、大事な時間を過ごせるよう努めている。又、馴染みの家具や写真を置いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知人等の訪問を受け入れる体制はあるが、現在版コロナ対応で訪問を禁止している。家族との面会はアクリル板を挟んで可としているが居室への入室は禁止している。 ・手紙や電話で家族との会話を取り次いでいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者の状態を把握しながら、娯楽やお手伝い等が楽しみながら支え合っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者の退去時には、何かあればいつでも連絡下さい。と伝え、相談に応じる支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンス・アセスメントを定期的に行い、一人ひとりの思いや意向を尊重し、希望に添ったケアを実施している。	・入所時のアセスメント、日常生活、ケアカンファレンス等を通じて思いや意向を把握している。 ・利用者の表情、声、仕草等で思いや意向を把握し、可能な限り意に添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活習慣を把握し、ご利用者の生活環境を踏まえながら、又、ご家族等にも情報共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム、身体状況を見極め、日々の生活を見守っていくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者・スタッフと共に定期的なカンファレンスを行い、家族にも常に状況説明を行い、意見を共有した上でケアへの反映と作成を行っている。	・必要な都度、関係職員が参加してケアカンファレンスを開催し、介護計画を半年ごとに見直している。 ・カンファレンスに先立ち、医師、看護師、家族の意見を把握している。	介護計画に定めた具体的な実施項目について、定期的にモニタリングを行い、項目の有効性や継続有無について判断することが期待されます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化や気づきを記録し、ADL・QOLの低下防止に努め日々の業務の中でも申し送りやカンファレンスを行い、サービスの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化(認知症の進行)については、ご家族からの相談・カンファレンスによって柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の祭りへの参加。今後も地域への行事等に参加していき、地域との交流が安心して楽しむことができるよう支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者全員がホームドクターの往診を受けている。 相談や必要がある時は、ご家族が往診に立ち会っている。	・提携医院の内科医が月2回、歯科医が月2回訪問診療をしている。 ・協力医以外の従来のかかりつけ医受診は家族が付き添っている。 ・医師診断結果を職員で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連絡先の看護師とは何かあれば職員誰もが連絡を取り、相談・指示を頂く事が出来、施設看護師は定期的に健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、入院先の病院ホーム・ドクター・看護師・施設側との連携を取り病状について相談等の情報交換を行い、早期退院ができるよう関係を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、重度化・看取りはないが、入居時に看取りへの説明をご家族に説明している。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や終末期に向けた事業所方針を、入居時に利用者本人と家族に説明して、重要事項説明書に署名を貰っている。 ・医師が看取り期に近づいたと判断したときは、家族に声をかけ、事業所管理者を交えて今後の方針を打ち合わせている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を行い、緊急時対応・事故発生時のマニュアル連絡網がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震想定訓練を行っており、町内会長さんとの地域避難場所・施設情報を伝えてある。町内会長さんは運営推進会議へも参加しており、民生委員である。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は夜間想定を含め、年2回実施している。周辺は斜面で消防署から地滑り対策の指導がある。 ・災害備蓄品は、水・食料品の避難用キット、ヘルメット、衛生用品などを備えているが、リスト化されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の賞味期限管理や、備蓄品全体の見直しなどのため、リスト化しての管理が望まれます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者は、お客様であることを忘れずに保護し、配慮するよう努めており、プライバシーの保護・入浴・排泄の研修を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は接遇とマナー研修を本社で受けている。 ・利用者は大声に反応することが多いので、大声を出さない、後ろから声をかけないことを徹底している。 ・トイレ誘導、入浴介助時には、個人の尊厳に配慮している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の話には耳を傾け相談や要望を受け入れ、希望に添うようにし、出来る限り自己決定が出来る支援を働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者の状況を把握し、その方に添った生活リズム・食事等の個々に行う支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や入浴時には、ご本人の希望する物を用意し、又、季節に応じた身だしなみ出来るよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の状態に合わせた食事形態を取り入れ、美味しく食べて頂けるよう工夫している。又、食事時は役割分担にて配膳・下膳・盛り付け等も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は委託業者の食材を職員が調理している。利用者の好みを聞いて、寿司の出前、松花堂弁当などの特別食の提供をしている。 ・誕生日には、居室担当者が色紙を作り、プレゼントやケーキでお祝いをしている。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取を記録しており、ご利用者の状況に合わせた形態や捕食等の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、スタッフにYPの介入にて仕上げを行っている。週に1回の歯科往診にて口腔ケア・個々の治療にて、感染症・誤嚥性肺炎の予防にもなっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人で行歩の排泄パターンを記録しており、個々の声かけ・時間誘導を行い、トイレでの排泄・出来ることは自分で行って頂き、自立支援を行っている。	・排泄チェック表により、利用者個人の排泄パターンを把握し、時間誘導をしている。排泄に影響のある水分補給を水分摂取表により最低900cc取れるよう配慮している。 ・定期的にトイレ誘導することで、清潔感と感染防止に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の水分量の記録・把握をしており、状態に応じて水分量の追加・適度な運動にて出来るだけ自然排便があるように取り組んでいる。又、便秘時には医師への相談・緩下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者の希望に添った温度。また、ゆず湯や菖蒲湯等を取り入れ、入浴を楽しめるよう支援している。体調の悪い時は無理強いをしない。	・入浴は週2回、午前中を原則としている。車椅子利用者には機械浴を行っている。 ・季節の菖蒲湯や柚子湯のほか、入浴剤を使って、くつろいで入浴できる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに応じ、疲れたり体調の悪い時は居室で休めるように支援し、いい安眠が出来るように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関薬局施設で薬についての相談確認が出来ており、個々対応も記録しておりスタッフにて共有に努め、変化がある時は管理者、医師、ナースに連絡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事やレクリエーションへの参加、出来ることを見つけ、役割を持ちながら、食事の準備、片付け、買い物、洗濯干し、たたみ等を行い、dvd鑑賞、カラオケなどを楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩やグループにわかれてドライブに出かけている。又、ご家族の面会時にも散歩に出かけている。	・コロナ過で外出できないので、利用者はベランダに椅子を持ち込み外気浴をしている。 ・感染予防のため、人との接触を避ける目的で、車での外出レクを企画している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々に必要なものをスタッフが購入したり、一緒に買い物、お手伝いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人に電話をかけたり、手紙を出したり、交流をもてるよう支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全で安心な環境づくりを行っており、環境整備を年2回、会社にても行っている。音や光、温度は状況に応じて配慮している。又、季節感を取り入れた生活空間の工夫も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、早番がモップ掛けと人が触る場所を消毒し、朝食後は掃除機を使って清掃を行う。夜勤者がフロアやカーテンの消毒をしている。 ・利用者が作成した季節の飾り物や職員手作りのクリスマスカードやツリーなどで季節感を演出している。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々で自由な時間を持ち、居室で休んだり、テレビを観たり、又、ホームメイトと談話や囲碁、歌などで思い思いに過ごせる空間になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が居心地よく安心して過ごせる生活スペースを、馴染みのものや大切なもの個々に部屋の工夫がされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、ベッド、カーテン、クローゼットは事業者が設備し、TV、タンス、ランプ型スタンド、鏡台などを利用者が持ち込み自分らしい部屋作りをしている。 ・居室担当制を敷き、担当職員が衣類などの整理・整頓、必要な物の家族への連絡を行っている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設がバリアフリー対応になっており、残存機能を活かしながら、出来ることは自分でして頂き自立支援を行っている。居室、浴槽、トイレ、エレベーターにはナースコールが設置されている。		

事業所名	ミモザ横浜朝比奈
ユニット名	曙（あけぼの）

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所前に職員と話し合い、決めた理念、7つの心を持ち共有し日々の業務に心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており初めてのお祭りに参加、会長さんをはじめ皆さんから温かい受け入れをしていただいた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・金沢区GH連絡会にて情報の交換・相談等を行っている。又、管理者が認知症ケア専門士であるため、認知症についての相談等は受け入れられる体制がある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度の会議にて防災訓練について避難場所等についての助言を頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村と介護サービス、生活対応についての情報交換や協力を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設けている。2カ月に一度の研修会を実施して「身体拘束をしないケア」に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間の社内研修に取り組んでおり、虐待防止について研修・話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人を受けている方がおり、後見人・ご本人との相談等ができる関係がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時での相談・入居後の相談は個々に設けており、要望・説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議・家族会にて、ご家族からの意見・要望を聞き、運営に反映されている。又、重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議・申し送りの中で意見交換を行い、業務へ反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が希望する。研修へ参加出来るよう承認し個々のスキル向上に務めている。又、勤務状況を把握し希望などに取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修へ参加しており個々のスキル向上となっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	金沢区GH連絡会に加入しており定期的な会議にて情報は交換・助言を頂き、質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者本人の思い希望をケアプランに取り入れており、安心と安全な生活を確保できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から入居時での相談・要望を受け止め、家族との信頼関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族が望んでいることを見極め、より良いサービスが対協できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者の培ってきたことを大切に、一方的にならないよう支え合う関係が築けるように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にご本人の近状も含め、報告を行っており、又、互いの相談・要望ができる関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会できる環境を整えており、大事な時間を過ごせるよう努めている。又、馴染みの家具や写真を置いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いが支え合い利用者同士が交流をもてるよう各フロアへ遊びに行く。囲碁、カラオケ、d v d鑑賞。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者の退去時には、何かあればいつでも連絡下さい。と伝え、相談に応じる支援を努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンス・アセスメントを定期的に行い、一人ひとりの思いや意向を尊重し、希望に添ったケアを実施している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活習慣を把握し、ご利用者の生活環境を踏まえながら、又、ご家族等にも情報共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム、身体状況を見極め、日々の生活を見守っていくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者・スタッフと共に定期的なカンファレンスを行い、家族にも常に状況説明を行い、意見を共有した上でケアへの反映と作成を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化や気づきを記録し、ADL・QOLの低下防止に努め日々の業務の中でも申し送りやカンファレンスを行い、サービスの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化(認知症の進行)については、ご家族からの相談・カンファレンスによって柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の祭りへの参加。今後も地域への行事等に参加していき、地域との交流が安心して楽しむことができるよう支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者全員がホームドクターの往診を受けている。 相談や必要がある時は、ご家族が往診に立ち会っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連絡先の看護師とは何かあれば職員誰もが連絡を取り、相談・指示を頂く事が出来、施設看護師は定期的に健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、入院先の病院ホーム・ドクター・看護師・施設側との連携を取り病状について相談等の情報交換を行い、早期退院ができるよう関係を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、重度化・看取りはないが、入居時に看取りへの説明をご家族に説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を行い、緊急時対応・事故発生時のマニュアル連絡網がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震想定の実地訓練を行っており、町内会長さんとの地域避難場所・施設情報を伝えてある。町内会長さんは運営推進会議へも参加しており、民生委員である。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者は、お客様であることを忘れずに保護し、配慮するよう努めており、プライバシーの保護・入浴・排泄の研修を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の話には耳を傾け相談や要望を受け入れ、希望に添うようにし、出来る限り自己決定が出来る支援を働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者の状況を把握し、その方に添った生活リズム・食事等の個々に行う支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や入浴時には、ご本人の希望する物を用意し、又、季節に応じた身だしなみ出来るよう支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の状態に合わせた食事形態を取り入れ、美味しく食べて頂けるよう工夫している。又、食事時は役割分担にて配膳・下膳・盛り付け等も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取を記録しており、ご利用者の状況に合わせた形態や捕食等の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、スタッフにYPの介入にて仕上げを行っている。週に1回の歯科往診にて口腔ケア・個々の治療にて、感染症・誤嚥性肺炎の予防にもなっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人で行歩の排泄パターンを記録しており、個々の声かけ・時間誘導を行い、トイレでの排泄・出来ることは自分で行って頂き、自立支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の水分量の記録・把握をしており、状態に応じて水分量の追加・適度な運動にて出来るだけ自然排便があるように取り組んでいる。又、便秘時には医師への相談・緩下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者の希望に添った温度。また、ゆず湯や菖蒲湯等を取り入れ、入浴を楽しめるよう支援している。体調の悪い時は無理強いをしない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに応じ、疲れたり体調の悪い時は居室で休めるように支援し、いい安眠が出来るように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関薬局施設で薬についての相談確認が出来ており、個々対応も記録しておりスタッフにて共有に努め、変化がある時は管理者、医師、ナースに連絡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事やレクリエーションへの参加、出来ることを見つけ、役割を持ちながら、食事の準備、片付け、買い物、洗濯干し、たたみ等を行い、dvd鑑賞、カラオケなどを楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩やグループにわかれてドライブに出かけている。又、ご家族の面会時にも散歩に出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々に必要なものをスタッフが購入したり、一緒に買い物、お手伝いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人に電話をかけたり、手紙を出したり、交流をもてるよう支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全で安心な環境づくりを行っており、環境整備を年2回、会社にも行っている。音や光、温度は状況に応じて配慮している。又、季節感を取り入れた生活空間の工夫も行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々で自由な時間を持ち、居室で休んだり、テレビを観たり、又、ホームメイトと談話や囲碁、歌などで思い思いに過ごせる空間になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が居心地よく安心して過ごせる生活スペースを、馴染みのものや大切なもの個々に部屋の工夫がされている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設がバリアフリー対応になっており、残存機能を活かしながら、出来ることは自分でして頂き自立支援を行っている。居室、浴槽、トイレ、エレベーターにはナースコールが設置されている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ミモザ横浜朝比奈

作成日 令和3年3月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会への利用者家族の出席方法の検討に加え地域住民の参加の検討	現在、コロナ渦において参加者を募るが困難であるが、地域の方の交流は継続していく。	これまでの議事録をご家族（不参加）に郵送。今後は特定の方だけでなく全員に参加要請のお手紙を郵送する	1年
2	33	土砂災害警戒区域のため消防関連との連携を強化。	土砂災害警報が昨今多くなっている。具体的な避難の場所への確保、また備蓄確保のため定期購入をする。	夏前には土砂災害を想定した避難訓練を実施する。また、日ごろか備蓄以外にも、米などの蓄えを維持する。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。